

対スリナム共和国 事業展開計画

2024年 4月 現在

基本方針 (大目標)	脆弱性の克服
---------------	--------

重点分野 1 (中目標)	強靱な社会の構築														
開発課題 1 (小目標)	【現状と課題】 スリナムは南米大陸に位置するが、他のカリブ共同体（カリコム）加盟諸国と同様、国連事務局が公表している小島嶼開発途上国リストに含まれている。同国は、鉱物資源に依存した経済からの脱却を目指しつつ、持続可能な成長を志向しているが、主産業であったアルミナ精製所の操業停止や原油安、多額の対外債務により厳しい経済状況にある。今後財政の健全化に努め、持続的な成長に向け取り組む上で、気候変動対策及び環境への配慮が課題である。都市部の廃棄物管理には収集能力、処理能力ともに課題があり、首都圏外への電気供給の不足や、首都圏でも電気効率の改善が求められているため、省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーへの転換も課題となっている。防災分野では、首都は度々洪水被害に見舞われており、内陸部においても河川氾濫のリスクを抱え、自然災害に対する脆弱性を有しているほか、新型コロナウイルス等で顕在化した脆弱な保健医療分野への対応も課題となっている。					【開発課題への対応方針】 気候変動対策については、適応策（防災）を重視しつつ緩和策との両面での対策推進を図る。環境分野では、廃棄物管理、再生可能エネルギーへの転換及び省エネルギーの推進を中心に、先方の実施体制を確認しつつ、管理能力強化に資する協力を行っていくことで、小島嶼開発途上国特有の脆弱性克服につなげる。防災分野では、専門家による助言や研修等を通じた支援を実施する。保健医療分野については、新型コロナウイルス感染症拡大で顕在化した脆弱な保健体制の強化に向けた協力に取り組んでいく。									
	協力プログラム名	案件名				スキーム	協力期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	気候変動対策プログラム	経済社会開発計画 カリブ地域総合防災アドバイザー				無償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2.00	13	防災関連機材
					個別専門家								11, 13	広域案件(カリコム14か国対象)	
重点分野 2 (中目標)	持続可能な経済開発														
開発課題 2 (小目標)	【現状と課題】 スリナムにおいて、水産業は国民への良質な動物性蛋白質の供給に寄与するとともに、地域住民の雇用機会の確保や輸出による外貨獲得等の観点からも重要な役割を果たしている。一方で漁業管理が不十分であることや外国船籍漁船を含むIUU(違法、無規制、無報告)漁業により損失を受けている。					【開発課題への対応方針】 海洋生物資源の持続的利用の観点も踏まえ、過去に水産無償で建設された施設の有効活用を促進しつつ、水産業の持続的発展とともに産業育成及び雇用創出につながることも、課題であるIUU漁業対策の人材育成の協力を進めて行く。2022年末に採択された「昆明・モンリオール生物多様性枠組」を踏まえ、生物多様性保全に資する又は生物多様性に配慮した取組を支援する。これらの協力にあたっては、同様の課題を抱える周辺諸国との知見共有・連携も念頭に置く。									
	協力プログラム名	案件名				スキーム	協力期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	農業・水産業開発プログラム	経済社会開発計画				無償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	4.00	2, 14	水産関連機材
その他															
	協力プログラム名	案件名				スキーム	協力期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	その他	カリコム・アドバイザー				個別専門家								9	カリコム開発・連携促進案件

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=個別研修)、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款・海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力学キーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線「——」」(=実施期間)、「破線「- - -」」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)